

目次

VI. 社会貢献活動

1. 社会貢献の目標	3. 地域社会との交流
2. 地域との連携	3.1 地域との交流
2.1 産学官連携における倫理規程	3.2 大学キャンパス周辺地域との交流
2.2 地域の産学官との交流	3.3 小中高校生対象イベント
2.3 自治体との連携	3.4 大学施設の地域開放
2.4 医療機関との連携	3.5 公開講座及び授業開放
2.5 企業との連携	4. 教員の社会的活動
2.6 教育界との連携	4.1 審議会等の活動
2.7 社会連携の推進	4.2 学外での講演等
	5. 国際交流
	5.1 研究者及び学生の国際交流
	5.2 調査等の協力
	6. 同窓会との連携

VI 社会貢献活動

1. 社会貢献の目標

本学は、大分大学憲章において、社会貢献の目標を以下のように定めている。

1. 大分大学は、地域拠点大学として、教育・研究・医療の成果を地域社会に還元することにより、地域社会との連携と共存を図り、その発展に貢献する。
2. 大分大学は、国際的な拠点大学として、広く世界に目を向けて交流を進める。特に、アジア諸国との特徴ある国際交流を推進する。

2. 地域との連携

2.1 産学官連携における倫理規定

(現状)

平成 17 年度に策定した「利益相反ポリシー」を学内ホームページに掲載するとともに学内構成員に対して周知し、啓発活動を行ってきた。

平成 20 年度においては、教職員に対し、大分大学における産学官連携に関する基本方針について改めて認識を深め、円滑な活動を支援するために、「産学官連携に関する基本方針」を定めた。

また、利益相反関係規程の整備を進め、平成 21 年早々に「利益相反マネジメント規程」を制定することとなった。

(評価)

倫理規定「利益相反ポリシー」の策定により、産学官連携の基礎的条件を整備した。

また、教職員における産学連携に対する認識を深めるために「産学官連携に関する基本方針」を定めたことは評価できる。

2.2 地域の産学官との交流

(現状)

本学は、全国の大学の中で最も早い時期（平成 11 年）に「地域連携推進室」を設置し、地域にお

VI. 社会貢献活動

ける産学官の連携に力を入れてきた。

これまでの産学官連携の中心は、地域共同研究センターが担ってきており、大分大学地域共同研究センター産学交流振興会、地域の工業団体・商工団体、自治体等と連携して交流を深めている。

また、本学大学院生を対象として開講している MOT (Management of Technology=技術経営) に関する講義を社会人に開放するとともに、「地域 MOT 推進協議会」を発足させ、地場企業の技術経営の促進を図っている。

さらに、産学官連携や地域との連携を一層推進するための学内情報の統合と外部への窓口を一元化するため、平成 18 年 4 月にイノベーション機構を設置し、また、平成 18 年 12 月にリエゾンオフィスを設置した。

平成 19 年度においては、4 月に学内リエゾンオフィスを設置した。また、地域共同研究センターが大分市、宇佐市、津久見市との産学交流会を実施、研究シーズ発表会、知的財産に関する講習会等を開催したほか、イノベーション機構においても、知的財産・産学官連携に関する講演会の開催、自治体主催の中小企業支援事業への参加等、資料 2.2-1 に示すような連携事業を行っており、資料 2.2-2 に示すような産学官交流研究グループにも参加している。さらに、学と学の連携により、地域の諸課題の解決及び地域の活性化を図るため、平成 19 年 9 月に、日本文理大学、別府大学、立命館アジア太平洋大学、大分県立看護科学大学、大分県立芸術文化短期大学、大分工業高等専門学校と連携し「地域連携研究コンソーシアム大分」を立ち上げた。

平成 20 年度においては、「産学官連携戦略展開事業」及び「戦略的大学連携支援事業」を獲得し、「大分大学イノベーション機構」と「地域連携研究コンソーシアム大分」の活動基盤強化、同コンソーシアム連携校における知的財産を軸とした産学官連携活動の強化、産学官連携活動に携わる人材の育成、知的財産管理活用体制の整備、地域連携研究等の推進を図った。各事業概要については、資料 2.2-3、資料 2.2-4 のとおりである。

また、大分県における「知の拠点」の形成による産学官連携強化とイノベーションの創出及び文部科学省及び経済産業省における事業・外部資金の優先的獲得のため、大分県・関連企業産学官連携団体等 3 団体と連携し、「産学官連携拠点整備計画書」を作成し、「平成 21 年度産学官連携拠点(地域中核産学官連携拠点)」に応募した。

(参照資料)

資料 2.2-1 平成 20 年度 産学官連携事業

資料 2.2-2 産学官連携推進会議 産学官交流研究グループ参加者

資料 2.2-3 「産学官連携戦略展開事業」概要

資料 2.2-4 「戦略的大学連携支援事業」概要

(評価)

地域の産学交流会や相談会等を積極的に開催し、地域連携推進会議等へ参加していることから、地域の産・官との交流活動は適切に行われている。

また、産学官連携促進事業を獲得し、産学官連携官活動基盤整備の強化等に大いに貢献している。

資料 2.2-1 平成 20 年度 産学官連携事業

事業名	回数	対象者	参加者数	実施場所	実施日	主催者
中小企業のための技術経営 (MOT) 実践講座	11	企業, 一般	—	大分市産業活性化プラザ	H20. 5.27 ~8. 5	大分市

VI. 社会貢献活動

大分市産学交流サロン	5	大学 高専 企業	—	大分市産業活性化プラザ	H20. 6. 5 H20. 8. 21 H20. 11. 21 H21. 2. 6 H21. 2. 20	大分市
産学交流振興会	1	企業	41	iichiko 総合文化センター	H20.07.23	大分大学
大分県工業団体連合会総会	1	県関係団体 大学 自治体 企業	—	大分全日空ホテルオアシスタワー3F	H20. 8. 28	大分県工業団体連合会
大分市産業活性化プラザ中小企業支援講座	9	企業, 一般	—	大分市産業活性化プラザ	H20. 9~ H21. 3	大分市
おおいた協働ものづくり展	1	一般	2,900	アートプラザ	H20.10.11 ~10.13	大分市工業連合会青年部会
産学官連携推進会議	1	大分県(産業創造機構) 大学 企業	—	ソフトパークセンタービル	H20.10.20	大分県
産学異業種交流会	1	大学 自治体 企業	49	リバーサイドホテル宇佐	H20.11.18	宇佐市商工会議所・大分大学
大分技術交流大会	1	県関係 大学 企業	171	大分東洋ホテル2F二豊の間	H20.12.18	(財)九州産業技術センター・大分大学
大分市産業活性化プラザ運営協議会	1	県内企業 大学教員 大分市	—	大分市役所	H21. 3. 3	大分市
産学官交流大会	1	県関係 大学 企業	—	大分県産業化学技術センター	H21. 3. 13	産学官連携推進会議
産学官交流会	1	大学 自治体 企業	—	津久見亀の井ホテル	H21. 3. 30	津久見市工業連合会・大分大学

資料 2.2-2 産学官連携推進会議 産学官交流研究グループ参加者

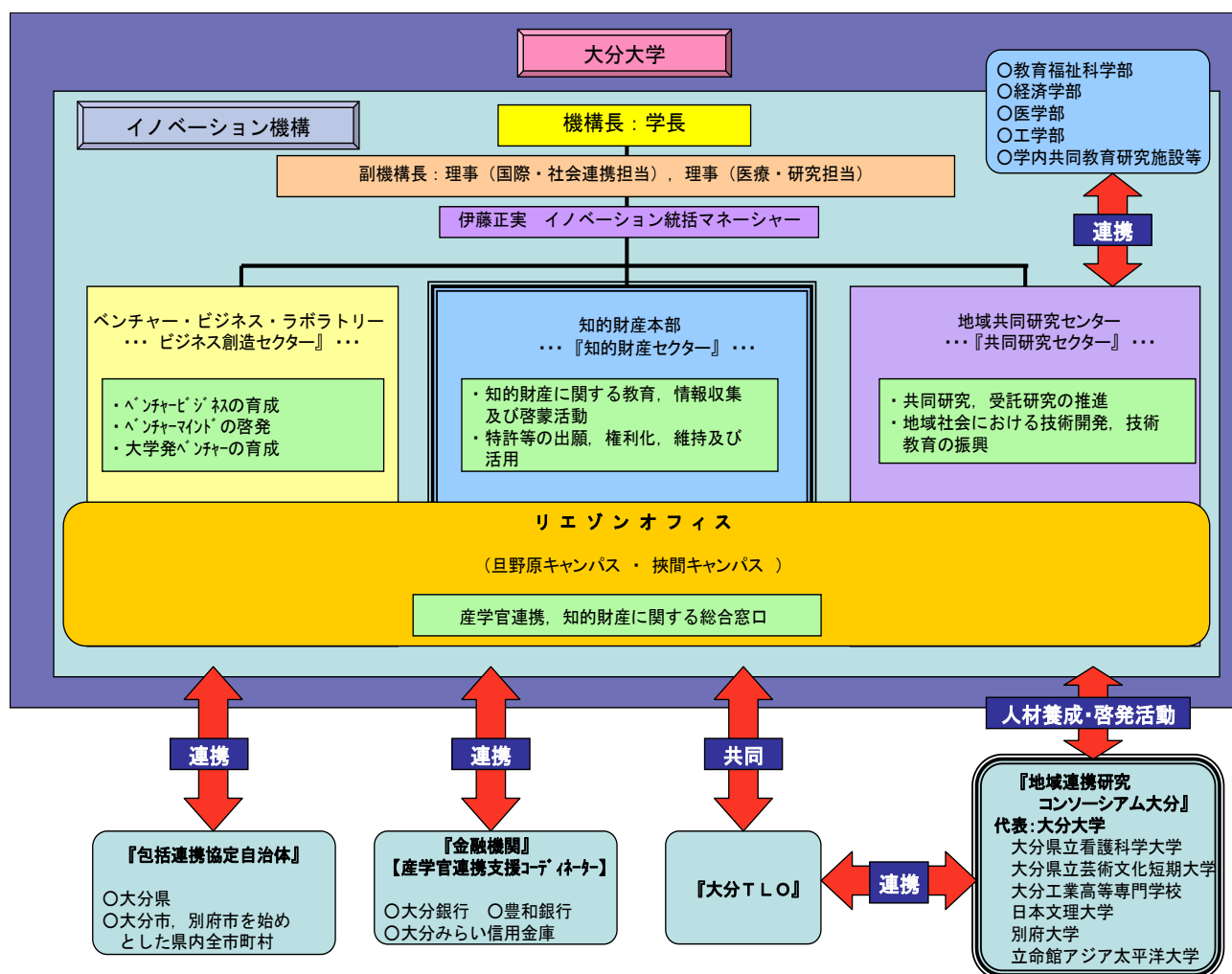
グループ名	主任	参加者	人数
超精密加工と関連装置の開発設計と製造工程の研究	工学部准教授	イノベーション機構客員教授	5
生物系材料の建築部材への有効利用	工学部教授	工学部助教	2
理工学に基づく食品加工技術の調査研究	工学部教授	地域共同研究センター准教授, イノベーション機構客員教授	3
新しい食品加工技術の調査研究	工学部教授	イノベーション機構客員教授	2
食品変色の評価技術の開発	イノベーション機構教授		1
ものづくりシステムIT化推進研究会	イノベーション機構客員教授		1

真珠養殖における産業廃棄物の再資源化に関する研究	イノベーション機構 教授	イノベーション 機構客員教授	3
自動車関連技術の調査研究	工学部教授	地域共同研究セ ンター准教授, イノベーション 機構客員教授	3
新エネルギー（風力・太陽光・バイオマス・燃料電池）実用化への研究	工学部助教		1

資料 2.2-3 「産学官連携戦略展開事業」概要

<概要>

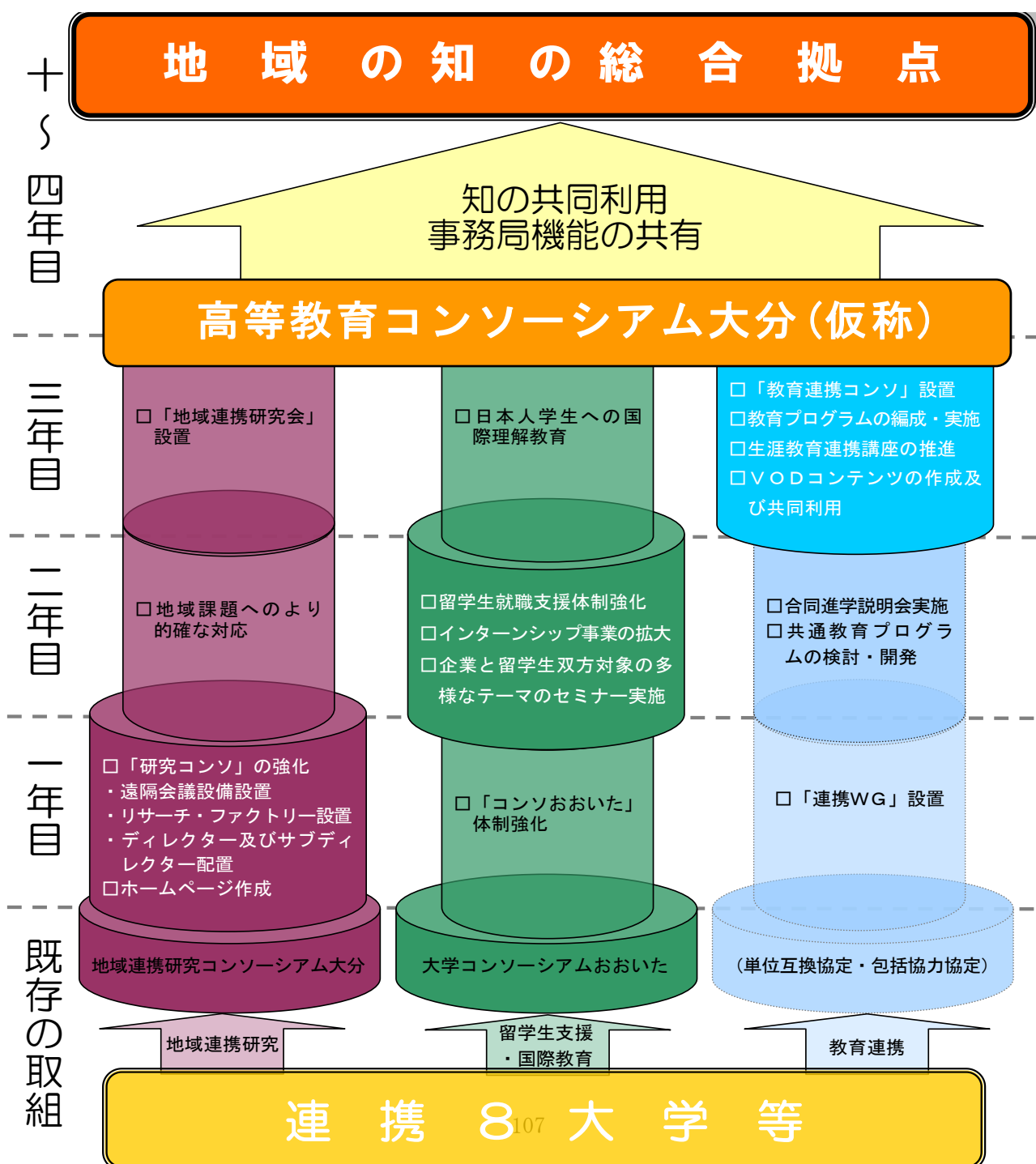
「学の連携」による地域の課題を解決する目的のため、平成19年8月に立ち上げた「地域連携研究コンソーシアム大分」において研究を推進し、研究成果を積極的に地域へ還元するため、知的財産を軸とした産学官連携活動の強化を図るための基盤の整備、産学官連携活動に携わる人材の育成、本コンソーシアムに参画している連携機関の特色に基づく知的財産管理・活用体制を整備し、知的創造サイクルの構築を目指す。



資料 2.2-4 「戦略的大学連携支援事業」概要

<概要>

1年目は「地域連携研究コンソーシアム大分」（地域連携研究）に、2年目は「大学コンソーシアムおおいた」（留学生支援）に、3年目は「教育連携コンソーシアム大分（仮称）」（教育）に重点をおいて段階的に取組を進める。事業終了前後には3つの連携領域を統合的に運営する組織として「高等教育コンソーシアム大分」（仮称）を立ち上げ、地域社会を支える高度専門人材を養成する拠点とする。それ以降、新組織は取り扱う連携業務を多様化させ、概ね10年後には大分地区における「地域の知の総合拠点」を構築する。



2.3 自治体との連携

(現状)

平成 16 年度から、自治体との連携を社会連携の柱として位置付け、県内全ての市と協定を締結することとし、各市町村と協議を重ね、平成 19 年度までに大分県及び県下すべての市町村（14 市 3 町 1 村）との協定締結を終えた。締結自治体を資料 2.3-1 に、平成 20 年度における連携事業実施状況を資料 2.3-2 に示す。

(参照資料)

資料 2.3-1 相互連携協力協定締結自治体

資料 2.3-2 平成 20 年度 自治体との連携事業実施状況

(評価)

自治体との協定を予定通りに実施しており、社会貢献活動として適切である。

資料 2.3-1 相互連携協力協定締結自治体

締結先	締結日	締結先	締結日
大分市	H16. 10. 25	豊後大野市	H18. 3. 2
中津市	H17. 1. 28	佐伯市	H18. 3. 8
豊後高田市	H17. 3. 1	杵築市	H18. 3. 28
別府市・別府商工会議所	H17. 5. 25	臼杵市	H18. 7. 27
大分県	H17. 8. 8	国東市	H18. 8. 30
宇佐市	H17. 8. 25	玖珠町	H20. 2. 5
日田市	H17. 10. 27	九重町	H20. 3. 3
竹田市	H17. 12. 16	日出町	H20. 3. 26
津久見市	H18. 2. 23	姫島村	H20. 3. 27
由布市	H18. 2. 28		

資料 2.3-2 平成 20 年度 自治体との連携事業実施状況

自治体	実施時期	連携（補助）事業名
大分市	15. 3/28～ 継続事業	大分市現教員等連携推進協議会
	16. 4/20	おおいた都心まちづくり会議
	18. 4/1～	既成住宅防災工事等助成事業
	18. 4～21. 3	大分市人権・同和教育推進連絡協議会
	18. 4/1～21. 3/31	大分市水産基本計画策定事業
	H19年度からの継続研究 20. 6～21. 3	街なか居住と郊外居住の評価要因等の区別化研究
	19～20年度で実施	地球温暖化対策おおいた市民会議
	19～20年度で実施	大分市商工業振興計画策定事業
	19. 4～21. 3	大分市緑の政策審議会
	19. 4～21. 3	特別保育事業 障がい児保育
	19. 4～21. 3	大分市要保護児童対策地域協議会

VI. 社会貢献活動

19. 4～21. 3	特別保育事業 障がい児保育
19. 4～21. 3	大分市親子通所事業
19. 4～21. 3	大分市いじめ・不登校等対策協議会
19. 4～21. 3	子ども教育相談センター運営協議会
19. 4～21. 3	障がい児保育事業
19. 4～21. 3	親子通所事業
19. 4/1～21. 3/31	大分市屋外広告物審議会
19. 4/1～	大分市産業廃棄物審査会
19. 4/1～	大分市産業活性化プラザ事業（プラザ運営協議会）
19. 6/26～21. 6/25	大分市景観審議会
19. 7/19～21. 7/18	城址公園周辺地区景観協議会
19. 10～	大分市産業活性化プラザ事業（入居者選定委員会）
19. 10～21. 3	新大分市緑の基本計画策定委員会
20. 4/1～21. 3/31	大分市武漢事務所業務委託
20. 4/1～21. 3/31	コンパルさわやかスポーツデー
20. 4/1～21. 3/31	健康スポーツ現場実習
20. 4/1～21. 3/31	コンパル運営連絡会
20. 4/1～21. 3/31	大分市生活安全推進協議会
20. 4/1～21. 3/31	社会福祉審議会
20. 4/1～21. 3/31	大分市開発審査会
20. 4/1～21. 3/31	戸次本町街づくり推進事業（戸次本町地区街なみ環境整備事業）
20. 4/1～21. 3/31	廃食油のBDF化（バイオディーゼル燃料）事業
20. 4/1～21. 3/31	児童家庭相談センター事業
20. 4/1～21. 3/31	障がい者自立支援協議会
20. 4/1～21. 3/31	環境審議会
20. 4/1～21. 3/31	大分市清掃事業審議会
20. 4/1～21. 3/31	大分市放置自動車廃物判定委員会
20. 4/1～21. 3/31	大分エコライフプラザ企画運営業務委託予定者選定等委員会
20. 4/1～21. 3/31	産業廃棄物処理施設等設置検討委員会
20. 4/1～21. 3/31	大分市都市計画審議会
20. 4/1～21. 3/31	総合社会福祉保健センター設置懇話会
20. 4/1～21. 3/31	駅南デザイン協議会
20. 4/1～21. 3/31	大分市幼児教育連絡協議会
20. 4/1～21. 3/31	大分市文化財保護審議会
20. 4/1～21. 3/31	大分市海部古墳資料館指定管理者等選考委員会
20. 4/1～21. 3/31	大分市歴史資料館協議会
20. 4/1～21. 3/31	大分市歴史資料館資料収集委員会
20. 4/1～21. 3/31	ムッチャン平和像保存事業
20. 4/1～21. 3/31	健康スポーツ現場実習生の受入れ

VI. 社会貢献活動

	20. 4～23. 3	産業廃棄物再製品化支援事業
	20. 4/1～	教育支援教室「フレンドリールーム」・訪問相談
	20. 4～21. 3	産学官交流サロン事業に対する助言等
	20. 4～21. 3	第63回国民体育大会チャレンジ! おおいた国体参加選手団に対する意識調査
	20. 4～21. 3	あなたが支える市民活動応援事業選考委員会
	20. 4～6	子育て支援中小企業表彰制度
	20. 5/5	コンパルこどもの日フェスティバル
	20. 5/21	大分市NPO法人協働推進事業選考委員会
	20. 6～21. 2	第2期大分市地域福祉計画策定委員会
	20. 6/24	大分市小中学校児童生徒弁論大会
	20. 7/22	街路樹景観整美計画策定
	20. 8	インターンシップ事業
	20. 8～21. 2	男女共同参画審議会
	20. 9～21. 3	豊の都市まなび直し講座
	20. 9/22	大分市複合文化交流施設整備事業民間事業者選定委員会
別府市	20. 4/1～21. 3/31	泉都別府ツーリズム支援事業
	20. 4/1～21. 3/31	ONSENツーリズム研究会 別府市観光協会事業
	20. 4/1～21. 3/31	湯けむり景観保存事業（文化的景観保護推進事業）
	20. 6/1～21. 3/20	国際理解教室
	20. 7/22～20. 8/1	大分大学学外実習
	20. 10/24～21. 2/6	肥満解消教室 「本気でやせる男の減量教室」
中津市	19. 4/1～20. 11/30	第4次中津市総合計画作成事業
	19. 4/1～21. 3/31	中津市行財政改革推進委員会
	20. 6～22. 3/31	中津市景観計画策定事業
日田市	19. 8/27	日田市の農林産物（柚子、トウガラシ）の増収と高品質化技術の開発事業
	20. 1～21. 3/31	合併後の全市的な学校規模の適正化推進事業
	20. 6～21. 3/31	日田市地域基盤整備事業
佐伯市	18. 8/10～21. 3/31	佐伯市都市計画道路整備・見直方針案作成事業
	20. 2/13～22. 2/12	佐伯市行財政改革推進委員会
	20. 2/27～22. 9	佐伯市庁舎建設審議会
	20. 4/8～	生涯学習アンケート結果の分析
臼杵市	H16～20年度	臼杵城再生整備事業（まちづくり交付金事業）
	19. 4～21. 3	臼杵市まちづくり基本計画策定事業
津久見市	20. 7～	メダカ育成交流事業（まちづくり交付金事業）
	20. 8/17～19	第4回無垢島自然体験学習会
豊後高田市	20. 4/1～21. 3/31	キラリと光るまちづくりプロジェクト（頑張る地方応援プログラム：総務省）
	20. 10/1～21. 3/31	キラリと光るまちづくりプロジェクト

VI. 社会貢献活動

		(頑張る地方応援プログラム：総務省)「遠隔健康相談サービス」
	20.10/1～21.3/31	キラリと光るまちづくりプロジェクト(頑張る地方応援プログラム：総務省)「遠隔画像診断サービス」
杵築市	19.12/6～21.12/5	杵築市行政改革推進委員会
	20.4/18～22.4/17	杵築市行政改革審議会
	20.7/16～21.3/31	学校評価の充実・改善のための実践研究
	20.12/25	H20年度杵築市小学校外国語活動
宇佐市	20.4/1～21.3/31	地域交通計画に基づく運行計画見直し
豊後大野市	20.4/1～21.3/31	豊後大野市庁舎検討委員会
由布市	20.4/1～21.3/31	由布市行財政改革推進会議
	20.4/1～21.3/31	指定管理者選定委員会
	20.4/1～21.3/31	皮膚ガン検診
	20.4/1～21.3/31	由布川小・挾間中病院内学級設置事業
	20.4/1～21.3/31	個人情報保護審査会
	20.4/1～21.3/31	情報公開審査会
	20.11/8～9	挾間町さちょくれ祭り
国東市	20.4/1～21.3/31	情報公開審査会
日出町	20.4/1～21.3/31	日出町都市計画審議会
九重町	20.7/10～21.3/31	九重町バイオマスタウン構想策定委員会

2.4 医療機関との連携

(現状)

非常勤医師として、平成20年度は174の施設に746名を派遣した。(前年度より18名の減)
常勤医師として、平成20年度は25名を派遣した。

(評価)

地域医療のニーズに応え非常勤医師を派遣しており、また、常勤医師の派遣に当たっては透明性を確保できている。

2.5 企業との連携

(現状)

平成16年度に株式会社大分銀行、株式会社豊和銀行と、平成17年度は大分信用金庫、大分みらい信用金庫、株式会社トキハと包括協力協定を締結した。金融機関との包括協力協定の締結は全国でも珍しい。

また、平成18年度においては、中小企業金融公庫大分支店との包括協力協定を締結した。大分合同新聞とは同社の創刊120周年を記念して、「明日を守る」ー防災立県めざしてーの実施に関する協定を結び(平成18年1月)、平成18年度中に多くの企画を共同で実施した。さらに、平成18年度後期から、経済学部において、大分銀行及び銀泉保険コンサルティングの寄附講義を開始した。

平成19年度は株式会社大分銀行、大分みらい信用金庫がそれぞれ開催した中小企業のための商談・マッチング等、地元経済の活性化のためのイベントに参加・協力をした。

平成20年度は、医学部に、バイオメット・ジャパン株式会社による寄附講座「人工関節学講座」を開設した。

(参照資料)

資料 2.5-1 包括連携協定を締結した企業との協力内容

(評価)

相談会等の活発な開催により企業のニーズに積極的に応えており、適切な連携活動を行っている。

資料 2.5-1 包括連携協定を締結した企業との協力内容

企業名	締結日	主な連携協力内容
株式会社大分銀行	H16. 8. 2	<ul style="list-style-type: none"> ・地域振興への貢献 ・共同研究等による地場企業の育成強化 ・ベンチャー企業の育成 ・相互の人材育成
株式会社豊和銀行	H16. 8. 3	<ul style="list-style-type: none"> ・教育研究活動の連携 ・研究成果の普及、活用促進 ・学習機会の提供 ・中小企業への支援、情報提供 ・地域振興への貢献
株式会社トキハ	H17. 5. 10	<ul style="list-style-type: none"> ・地域振興への貢献 ・販売戦略に関する共同研究 ・相互の人材育成
大分信用金庫	H17. 6. 10	<ul style="list-style-type: none"> ・地元産業の発展に寄与 ・共同研究等による地場企業の育成強化 ・ベンチャー企業の育成 ・相互の人材育成
大分みらい信用金庫	H17. 6. 10	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりを通じた地域振興の貢献 ・地場産業からの技術相談、研究相談 ・大分大学と地場企業との共同研究の推進 ・中小企業等の創業、新事業支援
中小企業金融公庫大分支店	H18. 12. 21	<ul style="list-style-type: none"> ・「産学連携の協力推進に係る協定」を締結

2.5.1 共同研究・受託研究

(現状)

本学における研究活動の現状と評価については、「IV 研究活動」の「4.2 共同研究／受託研究」で詳細に述べているので、ここでは地域に関連する事項のみを要約する。

平成 20 年度の研究依頼機関の所在地は、共同研究 117 件の内 69 件が、受託研究 57 件の内 5 件が県内機関とのものである。県内企業との共同研究テーマの事例を資料 2.5.1-1 に示す。

また、受託事業（湯けむり景観保存管理のための専門調査委託業務ほか 13 件）の実施などにより地域との連携を深めている（資料 2.5.1-2, 3 参照）。

(参照資料)

資料 2.5.1-1 平成 20 年度 県内企業との共同研究テーマの事例

資料 2.5.1-2 平成 20 年度 受託事業状況

資料 2.5.1-3 平成 20 年度 寄付金状況

(評価)

共同研究・受託研究・受託事業は、地域との連携の強さを示し、地域に結びついた研究活動によって適切な地域貢献をしている。

資料 2.5.1-1 平成 20 年度 県内企業との共同研究テーマの事例

担当者	研究テーマ	契約金額 (円)
工学部助教	低電圧 L S I 用電源の実用化研究開発	10,963,680
工学部准教授	手術中蛍光眼底造影装置の実現に向けた眼内照明用石英ファイバブローブ製造技術の確立	9,500,000
工学部准教授	廃シリコン汚泥の再資源化に関する研究開発	4,200,000
工学部教授	新規固体触媒を用いた BDF 合成装置の実用化研究開発	3,167,388
工学部助教	未利用木質系廃棄物の再資源化に関する研究開発	2,300,000
工学部教授	リニアアクチュエータの駆動力向上のための磁束集束配列適用の検討	2,000,000
工学部教授	F P D 洗浄プロセスで新しい薬液による剥離及び洗浄プロセスの開発	2,000,000
工学部教授	極小磁界 (電子スピン) センサの開発と絶縁体・磁性体材料 E S R 応用計測法の検討	1,600,000
工学部教授	中品質解体廃木材を有効利用した厚板耐力壁ユニットの開発	1,000,000
工学部准教授	水産加工場残渣再資源化技術の開発	1,000,000

資料 2.5.1-2 平成 20 年度 受託事業状況

部局区分	件数
教育福祉科学部	5
経済学部	1
医学部	1
工学部	2
その他	5
計	14

資料 2.5.1-3 平成 20 年度 寄付金状況

部局区分	件数
教育福祉科学部	15
経済学部	5
医学部	814
工学部	60
その他	18
計	912

2.5.2 産業創出・製品開発

(現状)

本学の持つ知的資源を社会に生かすため、VBL (ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー) はベンチャー企業の育成を図っている。現在までに VBL が関与して設立されたベンチャー企業を資料 2.5.2-1 に示す。

現在は、新製品の開発、特許取得に向けて、以下に掲げる各事業を積極的に推進している。特許出願も数合わせの出願でなく、新規商品を開発し、それを市場化するための出願がなされている。実際

VI. 社会貢献活動

に、地場企業との共同研究により、市場化された開発商品も出てきた。平成 19 年度までに本学の関わった商品を資料 2.5.2-2 に、平成 20 年度に開発された商品を、資料 2.5.2-3 に示す。

(写真)

○後藤体器との共同研究で開発した
「フィットネスストレッチャー」



○日田市第三セクター，株式会社つえエーピー，
大分県立看護科学大学と共同開発した「柚子の力」



(参照資料)

- 資料 2.5.2-1 大学発ベンチャー企業の一覧
- 資料 2.5.2-2 本学の関わりのあった新製品
- 資料 2.5.2-3 平成 20 年度に開発された新製品

(評価)

これまで、14 社のベンチャー企業を設立し、毎年新製品を創出するなど、地域の産業創出・製品開発に貢献している。

資料 2.5.2-1 本学発ベンチャー企業の一覧

社会システム総合研究所株式会社	株式会社ゼロテクノ
有限会社ニューライム	株式会社ジーマム
有限会社オフィス・ラジオロジスト	株式会社まちづくり臼杵
株式会社エル・シー・エー・アール	有限会社大分 TLO
有限会社ケムテックイノベーションズ	WILLNG
有限会社グローバル・エンバイロメンタル・テクノロジー	有限会社イーエイジット
エンバイロメンタルコントリビューションインターナショナル	株式会社環境総研九州

資料 2.5.2-2 本学の関わりのあった新製品

商品名	製品名	担当者	関連企業
虚空蔵「麦酢」	発酵大麦エキス	教育福祉科学部 教授	三和酒類株式会社
赤ワイン	赤ワイン	医学部 教授	三和酒類株式会社
スッポンジュレまるまる コラーゲン	ゼリー	教育福祉科学部 教授	塚崎薬品工業株式会社

VI. 社会貢献活動

しじみ習慣	シジミエキス	教育福祉科学部 教授	佐々木食品工業株式会社
空気清浄機	空気清浄機	工学部 教授	ダイキン工業株式会社
つちカエル	生ゴミ処理機	工学部 准教授	株式会社エコアップ
ゆずはちみつスペシャル	アレルギー軽減の健康飲料	工学部 准教授	日田市第三セクター株式会社つえエーピー
酢糖Mg (2006年4月)	葉面散布剤	工学部 准教授	ファームテック株式会社
アミノ酢糖 (2006年4月)	有機認証用の葉面散布剤	工学部 准教授	ファームテック株式会社
ルビスク (2006年10月)	植物用の代謝促進剤	工学部 准教授	ファームテック株式会社
枝わかさ	冷凍食品(枝豆)	工学部 准教授	株式会社海老江
フィットネスストレッチャー	下肢自動ストレッチ装置	総合科学研究支援センター 准教授	後藤体器株式会社
豊のたちばな	和菓子	工学部 准教授	株式会社ざびえる本舗

資料 2.5.2-3 平成20年度に開発された新製品

商品名	製品名	担当者	関連企業
柚子の力	アレルギー軽減の健康飲料	工学部 准教授 医学部 准教授	日田市第三セクター, 株式会社つえエーピー, 大分県立看護科学大学

2.6 教育界との連携

(現状)

大分県教育委員会との連携としては、教育福祉科学部において、夏季休業期間を利用した「大分県教育職員免許法認定講習」を開講した。講習は、9の講座に講師として本学教員7名と学外講師4名の協力を得て実施し、400人の受講者があった。

また、大分県教育委員会や大分市教育委員会が開催した「10年経験者講習」(研修日数延べ62日)に対し、延べ44の講座に、本学から講師を延べ55人派遣した。

(評価)

教員を対象とした(研修)講義を実施し、地域の教育委員会からの要請に答えている。

2.7 社会連携の推進

(現状)

社会連携活動の推進を図るため、毎年、本学の人的・物的資源や総合力を活用し、自治体や産業界(特に相互協力協定締結先)と本学の双方が目指す目的達成のために一体となった連携事業について学内公募により実施している(資料2.7-1)。

(評価)

幅広い分野の事業に取り組み、社会連携を積極的に推進している。

(参照資料)

資料 2.7-1 平成 20 年度 社会連携推進プログラム実施事業一覧

資料 2.7-1 平成 20 年度 社会連携推進プログラム実施事業一覧

部 局	事 業 名
教育福祉科学部	健康キャラバンが行く
経済学部	民官学連携による「第 4 回高校生なるほどアイデア・コンテスト」実施事業
医学部	大分県における自殺対策事業
医学部附属病院	大分県における皮膚がん検診事業
工学部	「産業廃棄物を改質した材料を用いた土木・建築用資材の開発」事業
	福祉のまちづくりのための拠点整備事業 －空き店舗・空き家の耐震補強技術
	地域における電磁力応用技術開発力の養成
福祉社会科学部	第 5 回福祉専門職講座
地域共同研究センター	循環型社会構築のための調査研究
ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー	アントレプレナー支援事業
イノベーション機構	「中小企業のための MOT (技術経営) 実践講座」の新教育プログラム開発と実施
	計 11 件

3 地域社会との交流

3.1 地域との交流

(現状)

地域社会との交流を図るため、毎年、大学開放イベント・公開講演会等の開催など、地域との連携を目指した事業を実施している(資料 3.1-1,2 参照)。特に、本学は、地域の行事である「チキリンばやし大会」や「はさまきちよくれ祭り」、「ななせの火群まつり」に積極的に参加している。また、公開講演会は、多くの一般市民の参加を得ている。この他、学生が主体となって企画・運営する「活き²プロジェクト」等、特色ある事業を展開している(資料 3.1-3 参照)。

また、平成 20 年 4 月から、生涯学習教育研究センターと高等教育開発センターが統合したことに伴い、公開講座の窓口を研究・社会連携課から、高等教育開発センターの事務を担当する教育支援課に変更した。高等教育開発センターでは、生涯学習関連部門として「大学開放推進部門」「生涯学習支援システム部門」を設け、「大分サイエンスカフェ 2008」の開催など新たな事業に意欲的に取り組んでいる。

さらに、平成 20 年 10 月 11 日から大分市の九州石油ドーム等で開催された「第 8 回全国障害者スポーツ大会・チャレンジ!おおいだ大会」に、約 150 名の学生が選手団担当のボランティアとして参

VI. 社会貢献活動

加し、6日間にわたり各県選手団をサポートしたことは特筆に値する。

(参照資料)

資料 3.1-1 平成 20 年度 大学開放イベント及び地域への参加事業

資料 3.1-2 平成 20 年度 公開講演会等開催状況

資料 3.1-3 平成 20 年度 その他の地域連携事業

(評価)

さまざまな事業を通して、地域社会との交流が積極的に行われている。

資料 3.1-1 平成 20 年度 大学開放イベント及び地域への参加事業

事業名	実施月日	対象者	参加者数	実施部局	実施場所	回数	共催等
キャンドルナイト in 分大	H20. 6. 27	一般市民	200 (本学関係者)	大分大学	旦野原キャンパス	1	
第 9 回ななせの火群まつり	H20. 7. 26 ～ H20. 7. 27	大分市民	10 (本学関係者)	大分大学	大分市・七瀬川自然公園	2	大分市主催
チキリンばやし市民総おどり大会	H20. 8. 2	大分市民	100 (本学関係者)	大分大学	大分駅前 47 万人の広場	1	大分市主催
大分大学開放イベント 2008	H20. 11. 2	一般市民	4,000 (一般参加者)	大分大学	旦野原キャンパス	1	協定自治体・企業出展
第 3 回国際文化祭 World Game ～一期一会～	H20. 12. 14	長浜校区及び錦町住民	250 (本学関係者)	国際教育研究センター	長浜校区公民館	1	錦町 1 丁目自治会

資料 3.1-2 平成 20 年度 公開講演会等開催状況

事業名	実施月日	対象者	参加者数	実施部局	場所	回数	共催等
VBL セミナー・講演会	H20. 10. 12 ～ H20. 12. 18	学生 市民一般	200	VBL	本学他	4	
講演会 (セクハラ・アルハラ)	H20. 5. 21	学生 教職員 市民一般	102	保健管理センター	本学	1	
講演会 (経済)	H20. 6. 3 H20. 12. 8	学生 教職員 市民一般	830	経済学部	本学	5	
福祉のまちおこし研究 (中心市街地活性化勉強会)	H20. 7. 1 ～ H20. 9. 16	学生 教職員 市民一般	160	福祉科学研究センター	別府市ふれあ広場・サザンクロス	4	別府市中心市街地活性化協議会
大分サイエンスカフェ 2008	H20. 7. 12 H20. 11. 8	市民一般	63	高等教育開発センター	大分高専コンパル	2	大分に青少年科学館をつくる会 NPO 法人 大分水フォーラム
産学交流会	H20. 7. 23 H20. 11. 18 H21. 3. 30	企業 技術者 教員	130	地域共同研究センター	大分市宇佐市津久見	3	

VI. 社会貢献活動

					市		
第2回大分大学教育臨床フォーラム	H20.10.26	教育関係者 スクールカウンセラー 学生 市民一般	200	教育福祉科学部(附属教育実践総合センター)	大分県農分業館	1	教育福祉科学部同窓会「豊友会」
大分市豊の都市学び直し講座『私たちにできる地域づくり講座』	H20.11.2 ~ H20.12.9	市民一般	15	高等教育開発センター	コンパル	6	大分市教育委員会
講演会(メンタルヘルス)	H20.11.7	学生 教職員 市民一般	61	保健管理センター	本学	1	高等教育開発センター
講演会(福祉)	H20.11.18 H21.1.9	学生 教職員 市民一般	160	福祉科学研究センター	本学	1	福祉社会科学部研究科
福祉のまちおこし研究(学内講演会)	H20.11.28	学生 教職員 市民一般	120	福祉科学研究センター	本学	1	大分市
大分大学福祉フォーラム(第12回)	H20.12.7	学生 教職員 市民一般	120	福祉科学研究センター	大分市コンパル	1	大分市, 大分市教育委員会
地域経済研究センターシンポジウム	H21.1.25	学生 教職員 市民一般	70	地域経済研究センター	本学	1	
合同研究成果発表会	H21.1.30	企業 技術者	52	地域共同研究センターVBL	大分第2ソフイアラザル	1	
第1回福祉社会科学講座(福祉・介護現場における人材育成・定着の課題)	H21.1.31	福祉・介護専門職関係者・学生・市民一般	117	福祉社会科学部研究科	大分県福祉社会科学研究センター	1	大分県社会福祉介護研修センター・福祉社会科学部研究科同窓会
地域発「『活力・発展・安心』デザイン実践交流会」での講演会	H21.2.28	市民一般	97	高等教育開発センター	梅園の里	1	地域発「『活力・発展・安心』デザイン実践交流会」
アントレプレナーセミナー	H21.3.15 ~ H21.3.21	学生 小学校4年生 ~ 中学校2年生	30	VBL	本学他	3	豊和銀行

資料 3.1-3 平成20年度 その他の地域連携事業

事業名	実施日	対象者	参加者数	実施部局	実施場所	回数	共催等
出前講義	通年	高校生		入試課	各高校等	18	
高校の大学訪問	通年	高校生 保護者	595	入試課	巨野原キャンパス, 挾間キャンパス他	11	
学習ボランティア事業	通年	学生, 講座同窓生	21	高等教育開発センター	県内各地	6	

VI. 社会貢献活動

竹田市5歳児健康診査フォロー相談会（個別相談，施設支援）	通年（7回）	保護者， 教員，保 育士等	延べ 70名	教育学科 心理学 教育心理 育室	竹田市総合社会福祉センター	7	竹田市
おおいた国体・おおいた大会式典歓迎演技振り付け，巡回指導	H20.4～10月	国体研芸 演技参加 者	901		県内福祉施設，県内中学校，旦野原体育館・九石ドーム他	50以上	大分県
フレンドシップ事業（大分大学－院内町交流事業）	H20. 6. 7 H20. 7. 5 H20. 9. 13～14 H20. 9. 26～27 H20. 11. 23 H20. 2. 22	大分大学生と院内町住民	260	教育福祉 科学部	大分県宇佐市院内町余谷地区棚田	6	
おおいたサイエンスカフェ	H20. 7. 12 H20. 11. 8	市民一般	35 28	高等教育 開発セン ター	大分高専，コンパルホール	2	大分に青少年科学館を作る会 大分水フォーラム
わくわく広場	H20. 8. 7	小学生とその保護者	20		大分大学	1	おしの公民館
親子で作って見よう！夏の星空	H20. 8. 7	小学生とその保護者	50		ビーコンプラザ	1	ビーコンプラザ
大分大学－院内町交流コンサート	H20. 9. 13	大分大学生と院内町住民	130	教育福祉 科学部	大分県宇佐市院内町ホール	1	余谷21世紀委員会 宇佐市教育委員会
生き ² プロジェクト 障害児の放課後問題を考える会 秋祭り・講演会	H20. 9. 21 H21. 3. 15	障がい児・保護者，養護学校や事業所	100	学生支援 課	社会福祉会館 大分市コンパルホール	2	
理科支援事業 科学教室	H20. 10. 23 H20. 10. 24 H21. 1. 28	小5～6 小5～6 小6	24 28 48	工学部	豊後高田市立伊美小学校 佐伯市立西上浦小学校 日出町立日出小学校	3	大分県
地層見学	H20. 10. 27 H20. 11. 14	小学生	66	教育福祉 科学部	旦野原キャンパス	2	市内小学校等2校
高校生なるほどアイデアコンテスト	H20. 11. 2	高校生保護者教諭	50	経済学 部	本学	1	
まなび直し講座	H20. 11. 2 H20. 11. 9 H20. 11. 16 H20. 11. 23 H20. 11. 30 H20. 12. 7	市民	15	高等教育 開発セン ター	大分市コンパルホール	6	大分市
大学生と高校生の簿記大会	H20. 11. 8	高校生	55	経済学 部	本学	1	

VI. 社会貢献活動

香々地フェスタ in 青少年の家	H20. 11. 9	一般	200	工学部	香々地青少年の家	1	香々地青少年の家
生き ² プロジェクト ダンスを通じた交流活動～大分県下の施設を巡って～	H20. 11. 18 ～ H21. 3. 17	知的障がい者、施設関係者	200	学生支援課	社会福祉施設 3施設	20	臼杵，佐伯， 賀来
生き ² プロジェクト 第2回生き ² バレーボール大会	H20. 11. 22	市民一般学生	150	学生支援課	本学	1	
理科支援特別授業	H20. 12. 2	小学生	30		竹田市立荻小学校	1	県教委
高教研理科部会大分支部秋季研修会	H20. 12. 11	高等学校理科教員	6	工学部	VBL セミナー室	1	
JST サイエンスパートナーシッププロジェクト，講座型学習活動プラン A 講座名：宿泊体験型科学教室「科学（ロボット）の不思議」	H20. 12. 20～21	中学生 高校生	26	工学部	香々地青少年の家	1	香々地青少年の家
地域経済研究センター シンポジウム (九州の自動車産業と地域経済の課題)	H21. 1. 25	企業等従業員、学生、一般市民	70	経済学部	本学	1	
第1回大分県高大連携シンポジウム (大分県における高大連携の新たな展開)	H21. 2. 27	高校教員 大学教員 一般市民	70	経済学部	経済学部	1	
生き ² プロジェクト 学内アート再発見！プロジェクト 公開研究フォーラム・所蔵品展覧会	H21. 2. 19 ～ H21. 2. 22	市民一般・美術関係者・学生・教職員	180	学生支援課	本学	2	フォーラムは21日
小学生向け特別授業「ロボットの世界」	H21. 3. 4	小3	92	工学部	大分市立東植田小学校	1	

3.2 大学キャンパス周辺地域との交流

(現状)

本学が旦野原キャンパス周辺住民との交流を目的に開催してきた「大分大学と地域自治会等との懇談会」は、平成20年度で10回目となる。平成20年度は、本学を会場に、周辺6自治会の住民、駕野校区自治会長、JR大分大学前駅長、植田東中学校長、駕野小学校長の23人及び本学関係者（学長・役員、学部長・事務長、学生支援部の課長、学生団体代表等）26人が出席した。

また、平成20年度は、「大分大学 FLOWER MAP」を作成した。これは、季節ごとに様々な草花が咲き誇る旦野原キャンパスの自然を地域の方に楽しんでいただくためのガイドブックとして、教育福祉

VI. 社会貢献活動

科学部の武井雅宏名誉教授の監修により、「秋→冬編」と「春→夏編」の2冊を刊行した。このFLOWER MAPは大分大学ホームページでも公開している。

(参照資料)

資料 3.2-1 平成 20 年度 周辺地域との交流事業

(評価)

周辺地域住民との交流に積極性を示している。

資料 3.2-1 平成 20 年度 周辺地域との交流事業

事業名	実施日	対象者	参加者数	実施部局	実施場所	回数	共催等
親と子の大学キャンパス自然観察会	H20. 6. 34 H20. 10. 11	小学生, 保護者	54	大分大学	旦野原キャンパス	2	大分市南部公民館
第3回国際文化祭 World Game ～一期一会～	H20. 12. 14	長浜校区及び錦町住民	250	国際教育研究センター	長浜校区公民館	1	錦町1丁目自治会
クリスマスキャンダルをつくろう	H20. 12. 13	周辺地域住民	30	教育福祉科学部	旦野原キャンパス	1	
大分大学と地域自治会等との懇談会	H21. 1. 29	自治会住民等	23	大分大学	旦野原キャンパス	1	各自治会等

3.3 小中高校生対象イベント

(現状)

本学は、これまでに小・中学生を対象とした企画を継続的に実施している。こうした企画は、大分市及び別府市内の全小・中学校にPRパンフレットを郵送あるいは配布し、広報を行っている。

平成20年度は、資料3.3-1に示すように、「ものづくり教室」、「夏休み子供サイエンス」等13のイベントを実施し、参加型10イベントに3,444人、公開講座型3イベントに65人の参加者を得た。

高校生を対象としたイベントとして、資料3.3-2に示すように、学長と語ろうの会、大分大学進学説明会（オープンキャンパス時を含む）、「キャンパス大使」による母校訪問などを実施している。

(参照資料)

資料 3.3-1 平成 20 年度 小・中校生対象イベント

資料 3.3-2 平成 20 年度 高校生対象イベント

(評価)

小・中・高校生を対象としたイベント等を活発に行い、本学並びに学びへの興味を引き立てることに貢献している。

資料 3.3-1 平成 20 年度 小・中校生対象イベント

事業名		実施月日	対象者	参加者数	実施部局	回数
参加型	親と子の大学キャンパス自然観察会	H20. 6. 14 H20. 10. 11	小, 保	54	高等教育開発センター	2
	夏休み子どもサイエンス	H20. 8. 8	小, 中, 保	1,437	工学部, 教育福祉科学部, 医学部	1

VI. 社会貢献活動

	「障がい児の放課後問題を考える会」秋祭り・講演会	H20. 9. 21 H21. 3. 15	障がい 児・保	100	学生支援課	2
	おもしろ科学実験教室	H20. 9. 29 ～ H21. 1. 20	小, 保	570	工学部	5
	小児科医と遊ぼう	H20. 10. 13	幼, 小, 保	100	医学部	1
	読み聞かせ会	H20. 11. 2	小, 保	95	附属図書館	2
	創作ダンスの指導	H20. 11. 7 H20. 11. 14	中	225 225	教育福祉科学部	3 3
	おもしろメカニカルワールド— 子どもと親のものづくり教室—	H20. 11. 9	4年生 以上の 小学生	108	工学部	1
	クリスマスキャンドルをつくろ う	H20. 12. 13	小, 保	30	教育福祉科学部	1
	たんけんしよう! 科学と技術のふしぎな世界 2009	H21. 3. 14	小, 中, 保	500	工学部	1
公開講座型	夏休み子ども造形美術教室	H20. 8. 11 ～ H20. 8. 12	小4～ 6年生	40	附属中学校	1
	ものづくり探検隊	H21. 3. 14	小, 保	19	教育福祉科学部	1
	ハイテク機器で自然観察 —電子図鑑 をつくろう—	H21. 3. 7	中	6	教育福祉科学部	1

注： 対象者の小は小学生，中は中学生，保は保護者，教は教員を示す。

資料 3.3-2 平成 20 年度 高校生対象イベント

事業名	実施月日	対象者	参加者数	実施部局	回数
進学説明会	通年	高校生, 保護者等	1,190	入試課 各学部	44
「キャンパス大使」母校訪問	H20 7～10月	高校生, 進路指導 教諭	52	入試課	35
大分大学進学説明会(オープンキャンパス)	H20. 8. 6	高校生, 保護者等	3,166	事務局 (入試課)	1
高校生のための数学・物理学かんどころ講座	H20. 8. 7	高	14	工学部	1
学長と語ろうの会	H20. 8. 22	高校生	49	入試課	1
学生によるオープンキャンパス	H20. 10. 11 ～ H20. 10. 12 H20. 11. 2	高校生	18	入試課	2
高校生なるほどアイデアコンテスト 2008	応募期間 H20. 8. 21 H20. 9. 26 表彰 H20. 11. 2	高校生	応募件数 427件 参加者数 551名	経済学部	1

VI. 社会貢献活動

大学生と高校生の簿記大会	H20. 11. 8	高校生	55	経済学部	1
JST SPP 科学（ロボット）の不思議	H20. 12. 20 他	高校生	8	工学部	2

3.4 大学施設の地域開放

(現状)

本学施設の有効利用および資金獲得を目的として、教育研究活動に支障のない範囲で、土曜・日曜・祝日、本学の休業中を中心に本学の施設を地域社会等に開放している。平成 18 年度から、貸付事務手続きの簡素化を図るとともに、料金表等を公開ホームページに公開し利用者の利便性を向上させ、利用促進を図っている。しかし、平成 20 年度においては、教育福祉科学部及び経済学部の耐震改修工事等の影響で、講義室関係を使用した試験等の大口の貸付について工学部だけでは対応できず、件数、金額ともに昨年度と同程度の使用となった。

平成 20 年度の実績を資料 3.4-1 に、その利用例を資料 3.4-2 に示す。前年度と比較して、件数で約 5%増、日数で約 3%減、金額で約 6%増となった。

(参照資料)

資料 3.4-1 平成 20 年度 教室等の一時貸付一覧

資料 3.4-2 平成 20 年度 教室等一時貸付の例

(評価)

貸付施設が改修工事等で使用できず、対応できない事例もあったが、本学施設利用の要求は広がっており、きめ細かい対応と施設の有効利用の促進に努めている。

資料 3.4-1 平成 20 年度 教室等の一時貸付一覧 () 内は前年度実績

区分		件数	貸付日数	使用料収入(円)
A	学会・研究会・研修会・公開講座等	40(36)	350(357)	1,174,085(907,975)
B	各種資格・認定試験等	11(12)	14(17)	922,750(1,313,900)
C	職員採用試験等	2(2)	3(2)	326,200(96,150)
D	入試・入試説明会・模擬試験等	7(5)	8(8)	423,050(308,800)
E	スポーツ施設利用等	1(3)	21(25)	54,600(88,600)
	計	61(58)	396(409)	2,900,685(2,715,425)

資料 3.4-2 平成 20 年度 教室等一時貸付の例

区分	貸付相手方	目的
A	大分県教育庁	大分県教育職員免許法認定講習
	AHA 大分 A C L S トレーニングサイト	心肺蘇生法講習会
	日本生活体験学習学会	日本生活体験学習学会第 10 回大会
	大分県糖尿病臨床医会	大分県糖尿病療養指導士研修会
	日田市	放課後児童クラブ
B	(財) 消防試験研究センター	危険物取扱者資格試験

VI. 社会貢献活動

	社団法人全国火薬類保安協会	火薬類取扱保安責任者等試験
	銀行業務検定協会	銀行業務検定
	(株) 全国試験運営センター	第二種電気工事士技能試験
	(特非) 福祉総合評価機構	社会福祉会計簿記検定試験
C	大分市	大分市職員採用試験
	人事院九州事務局	国家公務員採用第三種試験
D	東進衛星予備校大分中央校	模擬試験
	代々木ゼミナール福岡校	代々木ゼミナール公開模試
	大分県立舞鶴高等学校	模擬試験
	福岡大学	福岡大学地方入学試験
E	大分市消防局	全国消防救助技術大会(水上の部)に向けた訓練

3.5 公開講座及び授業開放

3.5.1 公開講座

(現状)

本学は、大学開放事業の一環として公開講座を実施している。平成20年度は、資料3.5-1に示すように18講座を開講し、577人(平成19年度は、20講座378人)の参加があった。平成20年度の開講数・参加者数は、前年度に比し2講座減であるが、199人増であった。

(参照資料)

資料3.5.1-1 平成20年度 公開講座状況

(評価)

公開講座は18講座設定したが、受講応募がなかったため未実施の講座が1講座あった。今後は、公開講座の開講情報をより幅広く市民に周知する方策を検討する必要がある。(平成20年度は過去に公開授業を受講した市民に個別に公開講座の案内を送付した。)

資料3.5-1 平成20年度 公開講座状況

番号	講座名	開設期間	開設部局	受講者数	募集人員
1	出前講座- 大分大学米水津塾 -	H20. 6. 15～ H21. 2. 15	高等教育開発センター	43	40
2	肺に影があるといわれたら	H20. 7. 5	医学部	33	50
3	乳がん手術で郭清されるリンパ節	H20. 7. 7	医学部	63	50
4	腎移植医療の実際とその問題点	H20. 7. 9	医学部	33	50
5	薬で治る・手術で治るパーキンソン病	H20. 7. 12	医学部	72	50
6	理科や算数を使って親子で遊ぼう	H20. 7. 26～ H20. 11. 8	教育福祉科学部	28	30
7	泳げない男の子の水泳教室	H20. 7. 23～ H20. 7. 30	教育福祉科学部 ・工学部	22	20
8	泳げない女の子の水泳教室	H20. 7. 23～ H20. 7. 30	教育福祉科学部 ・工学部	23	20
9	ちびっ子スイミング男子	H20. 7. 23～ H20. 7. 30	教育福祉科学部 ・工学部	11	10

VI. 社会貢献活動

10	ちびっ子スイミング女子	H20. 7. 23～ H20. 7. 30	教育福祉科学部 ・工学部	7	10
11	夏休み子ども造形美術教室	H20. 8. 11～ H20. 8. 12	教育福祉科学部 ・附属中学校	50	40
12	高校生のための数学・物理かんどころ講座	H20. 8. 7～	工学部	20	10
13	身近な大分の化石収集	H20. 8. 10 H21. 8. 23～24	教育福祉科学部	107	50
14	楽しくつくろう!木工教室	H20. 8. 22～ H20. 8. 26	教育福祉科学部 ・附属中学校	16	16
15	これからの社会と法	H20.10.16～ H20.11.27	経済学部	37	40
16	身近な数学	H20.11.8～ H20.12.6	教育福祉科学部	未実施	30
17	食育とコミュニケーションを親子一緒に考える講座	H20.12.20～ H20.12.21	高等教育開発センター	10	50
18	生涯教育としてのスキー・スノーボード	H21. 1. 23～ H21. 1. 24	高等教育開発センター	2	—
合 計				577	566
前年度 合計				378	621

3.5.2 公開授業

(現状)

本学は、学生向けに開講している講義科目を一般に公開する公開授業を継続して実施している。平成20年度は、資料3.5.2-1で示すように97科目で合計64人の受講者があった。前年度に比し、科目数は変わらないが、受講者は0.76倍と減少している。

(参照資料)

資料3.5.2-1 平成20年度 公開授業の開講科目数及び受講者数

(評価)

公開授業科目数は毎年増加しており、教員の意識は授業公開に積極的である。今後は、広報活動の拡充を図り、受講者数の拡大に努める必要がある。

資料3.5.2-1 平成20年度 公開授業の開講科目数及び受講者数

	開講科目数	受講者数
前期	55	41
後期	42	23
計	97	64
前年度 計	97	84

募集人員は、各科目10名

4. 教員の社会的活動

4.1 審議会等の活動

(現状)

本学の知的財産である教員はその専門性を生かし、社会の様々な審議会等に参画している。参画する場合は、兼業を届け出て、承認を得ることになっている。

平成20年度は、資料4.1-1に示すように、国、県、その他公的機関や公益法人等で延べ約270名が活動したほか、非常勤講師等の教育に関しては延べ約230名が地域の活動に参画した。

また、相互連携協力協定を締結している大分県及び県下すべての市町村(14市3町1村)を訪問し、地域が抱えている課題について調査を行っており、各専門の教員が課題解決に取り組んでいる。

(参照資料)

資料4.1-1 平成20年度 兼業承認件数

(評価)

教員はその専門性を活かし、社会の様々な分野において活動しており、地域・社会の要請に十分に応えている。

資料4.1-1 平成20年度 兼業承認件数

区 分		役員	その他の職員					合計
			教育福祉 科学部 (93)	経済学部 (55)	医学部 (278)	工学部 (115)	その他 (38)	
営利企業の 役員等の兼 業	技術移転兼業	0	0	0	0	0	0	0
	研究成果 活用兼業	0	0	0	0	0	0	0
	監査役兼業	0	0	0	0	0	0	0
	その他の 役員の兼業	0	0	0	0	0	0	0
営利企業の役員以外の兼業		3	13	6	813	18	13	866
教育に関する兼業		0	102	35	50	23	8	218
国等の行政機関の兼業		11	95	17	84	22	27	256
独立行政法人の兼業		1	6	0	13	10	5	35
国立大学法人等の兼業		0	28	4	19	8	1	60
自営の兼業		0	0	0	0	0	0	0
合 計		15	244	62	979	81	54	1,435

注：1 その他には、福祉社会科学部研究科及びセンター等の専任教員を含む。

2 () 内の数字は、平成20年度の在籍教員数

4.2 学外での講演等

(現状)

本学の教員が自らの専門知識、経験等を直接的な形で社会や地域に還元する活動の一つとして、学内・外において、講演活動等を行っている。平成 20 年度は、資料 4.2-1 に示すように合計 1,118 回の講演を行った。

(参照資料)

資料 4.2-1 平成 20 年度 学外での講演等活動件数

(評価)

教員はその専門性を活かして講演活動を行い、地域・社会の要請に応じている。

資料 4.2-1 平成 20 年度 学外での講演等活動件数

部局等	合計 (579)	教育福祉 学部(93)	経済学部 (55)	医学部 (278)	工学部 (115)	福祉社会 科学研究 科(4)	センター (34)
20 年度	1,118	47	27	934	33	28	49
19 年度	952	69	14	843	7	14	5
18 年度	791	146	3	631	11		
17 年度	254	45	3	158	45		3

() 内の数字は平成 20 年度の在籍教員数

5. 国際交流

5.1 研究者及び学生の国際交流

(現状)

本学は、国際交流促進の一環として、各国の大学・病院等と国際交流協定を結んでいる。平成 20 年度には、資料 5.1-1 に示すように 6 校と新たに締結を結んだ。平成 20 年度までの国際交流協定締結校は、資料 5.1-3 に示すように、中国 11、韓国 14、アメリカ 6 等の 18 ヶ国、53 校（病院を含む；学部間協定校を含む）であり、うち 41 校が学術交流を、また 48 校が学生交流を目的としている。

協定締結校との学生交流では、受入学生のうちアジア地域からが 61% を占めているが、派遣学生はアジア地域へが 64% 強となり、短期語学研修を含めると 78% 強となっている。アジア地域への派遣が増加したものの、受入が派遣を上回る状況である。また、研究者交流では、派遣が受入を上回っている。学生の派遣を促進する方策として、平成 20 年度は TOEFL-ITP の実施、留学英語の取組などを行った。

国際交流協定を締結している大学等の大半がアジア地域であることから、大分市と友好都市である武漢市の大分市事務所内に「大分大学事務所」を平成 18 年 5 月に設置し、本学の活動拠点としているが、大分大学事務所を中心として帰国留学生のネットワークを構築し、武漢市に在住する本学OBを中心とする中国人留学生同窓会設立の検討を開始した。

(参照資料)

資料 5.1-1 平成 20 年度 新規交流協定締結校

資料 5.1-2 平成 20 年度 研究者・学生の派遣と受入数

資料 5.1-3 平成 20 年度 国際交流協定校一覧

VI. 社会貢献活動

(評価)

協定校数、派遣留学生数は増加し、海外の活動拠点を確保するなど、国際交流事業は適切に展開されている。今後も派遣の促進に努める必要がある。

資料 5.1-1 平成 20 年度 新規交流協定締結校

地域	大学名	国又は地域	締結年月日	交流内容
ヨーロッパ	NHL 大学	オランダ	H21. 01. 06	学生交流
	TAMK 大学	フィンランド	H21. 03. 23	学術交流 学生交流
アジア	ハノイ医科大学	ベトナム	H20. 10. 23	学術交流 学生交流
	ホーチミン医科薬科大学	ベトナム	H20. 10. 24	学術交流 学生交流
	チョーライ病院	ベトナム	H20. 10. 24	学術交流 学生交流
	アイルランガ大学医学部*	インドネシア	H20. 05. 12	学術交流

*総合科学研究支援センターとの部局間協定

資料 5.1-2 平成 20 年度 研究者・学生の派遣と受入数

地域	国又は地域	締結校数	研究者		学生	
			派遣	受入	派遣	受入
北米	アメリカ合衆国	6	1	0	2 (0)	12
中南米	ドミニカ共和国	2	3	0	0 (0)	0
ヨーロッパ	オランダ	2	1	0	1 (0)	0
	イギリス	1	0	0	3 (0)	1
	ドイツ	1	0	0	5 (0)	5
	フランス	0	0	2	0 (0)	0
	ポルトガル	1	0	0	0 (0)	0
	スウェーデン	1	0	0	0 (0)	1
	ノルウェー	1	0	0	0 (0)	0
	フィンランド	1	0	0	0 (0)	0
	ポーランド	0	1	0	0 (0)	0
	スペイン	0	1	0	0 (0)	0
	ハンガリー	1	1	0	1 (0)	4
アジア	中華人民共和国	11	2	7	5 (0)	16
	大韓民国	14	11	1	2 (16)	17
	タイ	2	0	0	1 (0)	1
	インドネシア	2	0	1	0 (0)	2
	フィリピン共和国	2	0	0	11 (0)	0

VI. 社会貢献活動

	ベトナム	3	0	0	0 (0)	0
	台湾	1	0	0	0 (5)	0
	シンガポール	0	0	0	0 (0)	0
	バングラデシュ	0	0	0	0 (0)	0
	アルメニア	0	0	0	0 (0)	0
オセアニア	オーストラリア	1	1	1	0 (0)	0
合計		53	22	12	31 (21)	59
内	締結校に対する派遣・受入	0	8	4	31 (21)	59
内	非締結校に対する派遣・受入	0	14	8	0 (0)	0
前年度 合計		47	24	16	24 (0)	68
内	締結校に対する派遣・受入	0	10	5	15 (0)	68
内	非締結校に対する派遣・受入	0	14	11	0 (0)	0

() は短期語学研修

資料 5.1-3 平成 20 年度 国際交流協定校一覧

(2009. 3. 31 現在)

国・地域 (数)	大 学 名	内 容
アメリカ (6)	サンフランシスコ州立大学	学生交流 (4 人)
	テキサス大学オースチン校	学術交流・学生の交流 (5 人)
	ノースキャロライナ大学シャーロット校	学生交流 (5 人)
	メリーランド大学ボルチモア校	学術のみ
	サンディエゴ州立大学	学術交流・学生の交流 (5 人)
	アーカンソー大学フォートスミス校	学生交流 (5 人)
ドミニカ共和国 (2)	サントドミンゴ自治大学	学術のみ
	ルイス・エドワルド・アイバール病院* (医学部との学部間交流)	学術のみ
韓国 (14)	南ソウル大学校	学生交流 (5 人)
	忠州大学校	学術交流・学生交流 (5 人)
	西京大学校	学術交流・学生交流 (5 人)
	嶺南大学校	学術交流・学生交流 (5 人)
	ソウル女子大学校	学生交流 (5 人)
	高麗大学校	学術交流・学生交流 (5 人)
	梨花女子大学校	学術交流・学生交流 (5 人)
	順天大学校	学術交流・学生交流 (5 人)
	培材大学校	学術交流・学生交流 (5 人)
	暎園大学校	学術交流・学生交流 (5 人)
	江南大学校	学術交流・学生交流 (5 人)
	釜山大学校	学術交流・学生交流 (5 人)
	江陵大学校	学術交流・学生交流 (5 人)
	光州大学校	学術交流・学生交流 (5 人)

VI. 社会貢献活動

中国 (11)	江漢大学	学術交流・学生交流 (5人)
	河北医科大学(医学部との学部間交流) *	学術交流・学生交流 (2人)
	中華人民解放軍軍医進修学院* (医学部との学部間交流)	学術のみ
	遼寧師範大学	学生交流 (5人)
	香港大学	学術交流・学生交流 (5人)
	河北師範大学	学術交流・学生交流 (5人)
	華中科技大学	学術交流・学生交流 (5人)
	深せん大学	学術交流・学生交流 (5人)
	南陽理工学院	学術交流・学生交流 (5人)
	対外経済貿易大学	学術交流・学生交流 (5人)
	中南財經政法大学	学術交流・学生交流 (5人)
台湾 (1)	東海大学	学生交流 (5人)
タイ (2)	チェンマイ大学	学術交流・学生交流 (5人)
	コンケン大学	学術交流・学生交流 (5人)
インドネシア (2)	バンドン工科大学	学術交流・学生交流 (3人)
	アイルランガ大学医学部* (総合科学研究支援センターとの協定)	学術のみ
ベトナム (3)	ハノイ医科大学	学術交流・学生交流
	ホーチミン医科薬科大学	学術交流・学生交流
	チョーライ病院	学術交流・学生交流
フィリピン (2)	サン・ラザロ病院	学術交流・学生実習
	セントルークス病院	学術交流・学生実習
オーストラリア (1)	西オーストラリア大学	学術交流・学生交流 (5人)
英国 (1)	バーススパ大学	学生交流 (3人)
スウェーデン (1)	メーラダーレン大学	学術交流・学生交流 (5人)
ドイツ (1)	パダボーン大学	学生交流 (5人)
オランダ (2)	ティルブルグ大学	学生交流 (5人)
	NHL 大学	学生交流 (5人)
ポルトガル (1)	ポルトカレンセ大学	学生交流 (3人)
ノルウェー (1)	オスロ大学	学術交流・学生交流 (2-4人)
ハンガリー (1)	カーロリ・ガーシュパール・カルビン派大学	学術交流・学生交流 (5人)
フィンランド (1)	TAMK 大学	学術交流・学生交流 (5人)
計 53 校	*は部局間交流	

5.2 調査等の協力

(現状)

研究調査や視察のために海外に出かけたり外国研究者の参加を得た国内での学会、フォーラム開催などを行っている。

VI. 社会貢献活動

平成 20 年度は、資料 5.2-1 に示している。なお、平成 20 年度は、中国留学生同窓会設立に向けて、1 2 月と 3 月に武漢市を訪問し、留学生 O B と検討を重ねた。また、学部独自の外国研究者との交流や支援事業等も行っており、平成 20 年度においても、ドミニカ共和国への医療支援を継続している。

(参照資料)

資料 5.2-1 平成 20 年度 その他の国際交流状況

資料 5.2-2 平成 20 年度 学部単独の国際交流活動

(評価)

韓国の協定校からの学生来訪の受け入れや医療援助については、継続的に実施されており、一過性の協力ではないところが評価できる。

資料 5.2-1 平成 20 年度 その他の国際交流状況

国際交流の内容	実施期間	国名	機関等名
協定校来訪	20. 4. 1	オランダ	ティルブルグ大学
協定校来訪	20. 4. 4	大韓民国	キョンオン大学校
協定校来訪	20. 5. 20	イギリス	バーススパ大学
NAFSA 総会及び日本留学フェア	20. 5. 23～ 20. 6. 1	アメリカ	NAFSA
協定校訪問 EAIE 総会及び日本留学フェア	20. 9. 7～ 20. 9. 21	オランダ オーストリア フィンランド ベルギー	ティルブルグ大学 ヘルシンキ大学 ウィーン大学 TAMK 大学 E A I E
交流協定調印式	20. 10. 22～ 20. 10. 26	ベトナム	ハノイ医科大学 ホーチミン医科薬科大学
同窓会設立準備打合せ及び 協定締結打合せ	20. 12. 10～ 20. 12. 13	中華人民共和国	武漢大学 大分市武漢事務所 ほか
協定締結打合せ	21. 2. 1～ 21. 2. 8	フランス	レンヌ第 2 大学 オルレアン大学
受入れ調査	21. 2. 17～2. 25	大韓民国、台湾	ソウル女子大学 梨花女子大学 高麗大学 東海大学
協定締結打合せ	21. 2. 24～2. 28	シンガポール	シンガポール大学 チャンギ総合病院
協定締結打合せ	21. 3. 16～3. 29	オーストラリア ニュージーランド	西オーストラリア大学等 ビクトリア大学
協定締結打合せ	21. 3. 21～3. 25	ニュージーランド	ビクトリア大学
協定締結打合せ	21. 3. 21～3. 25	ニュージーランド	ビクトリア大学
同窓会設立準備打合せ及び 協定締結打合せ	21. 3. 24～3. 29	中華人民共和国	武漢大学ほか

VI. 社会貢献活動

協定校来訪	21. 3. 27	アメリカ	サンディエゴ州立大学
協定校来訪	21. 3. 27	大韓民国	培材大学校

資料 5.2-2 平成 20 年度 学部単独の国際交流活動

学 部	交 流 大 学 等	交 流 内 容
教育福祉科学部	韓国自閉症養護学校「ミラル学校」	研究者及び教職員による特別支援教育に関する情報交換と相互研修
経済学部	タイ、ベトナム、ラオス、カンボジア、韓国、日本	国際学生シンポジウム H20. 8. 4～8. 5 (東南アジアの社会経済開発と経済)
	中国、日本	21 世紀日中経済フォーラム 2008 H20. 11. 29～11. 30
	チェンマイ大学	学生参加の「東南アジア社会フィールドワーク」(タイの政情不安により取り止め)
	サンフランシスコ州立大学、ノースカロライナ大学、テイルブルグ大学、バースス大学、パダボーン大学、遼寧師範大学、深圳大学、対外経済貿易大学、高麗大学、チェンマイ大学	学生の語学研修派遣
医学部	高麗大学	日韓合同カンファランス開催
	サン・ラザロ病院	サン・ラザロ病院研修プログラム(学生実習)
	河北医科大学	共同研究「東アジアにおけるヘリコバクター・ピロリ感染と胃癌研究の拠点形成」
工学部	国立順天大学校工科大学	両大学における工学認証制度に関する意見交換交流 H20. 6. 24
	シシエチェン工科大学	環境浄化に関するシンポジウム H20. 7. 22
	密陽大学	日韓共同シンポジウム H20. 9. 26
	ソウル大学	炭素材料に関する研究と意見交換 H20. 11. 28
	蔚山科学大学・蔚山工業高等学校	工学部訪問及び見学 H21. 1. 6
	ソウル大学, Dong-A 大学, Dong-EUI 大学	電磁応用に関する日韓シンポジウム H21. 1. 29～30

6. 同窓会との連携

(現状)

本学の同窓会は、豊友会(教育福祉科学部)、四極会(経済学部)、玉樹会(医学部医学科)、桜樹会(医学部看護学科)、翔工会(工学部)、福祉社会科学部同窓会の6団体が、それぞれ個別に活動を行ってきたが、平成17年度から、同窓会相互の交流を深めることを目的に、「大分大学と同窓生との交流会」を開始した。平成20年度は、開催地区が一巡したことから、新たな試みとして、「著名な同窓生の講演(浜田博別府市長)」と「在学生の現状報告」を交流会に盛り込んだ。

(参照資料)

資料 6.6-1 大分大学と同窓生との交流会開催状況

(評価)

学部別の同窓会を連携しようと積極的に働きかけており，適切に対応している。

資料 6 -1 大分大学と同窓生との交流会開催状況

日 時	地区	開催場所	参加人数
H17. 12. 10	大分地区	大分大学旦野原キャンパス	212 人
H18. 3. 19	関東地区	コラボ産学官 inT O K Y O (東京都)	94 人
H18. 7. 23	関西地区	大阪商工会議所ホール (大阪市)	69 人
H19. 12. 1	九州・山口地区	西日本新聞社館 福岡国際ホール (福岡市)	100 人
H20. 12. 6	大分地区	大分大学旦野原キャンパス	200 人